

カレンダー 2024

季節の絵柄を多色刷りで表現した I 組独自のカレンダーです。スチレンボードに油性ペンで描画すると、描いた線の部分が溶けて少しへこみます。そこにインクをつけて刷ると描いた絵柄が白く浮き上がります。

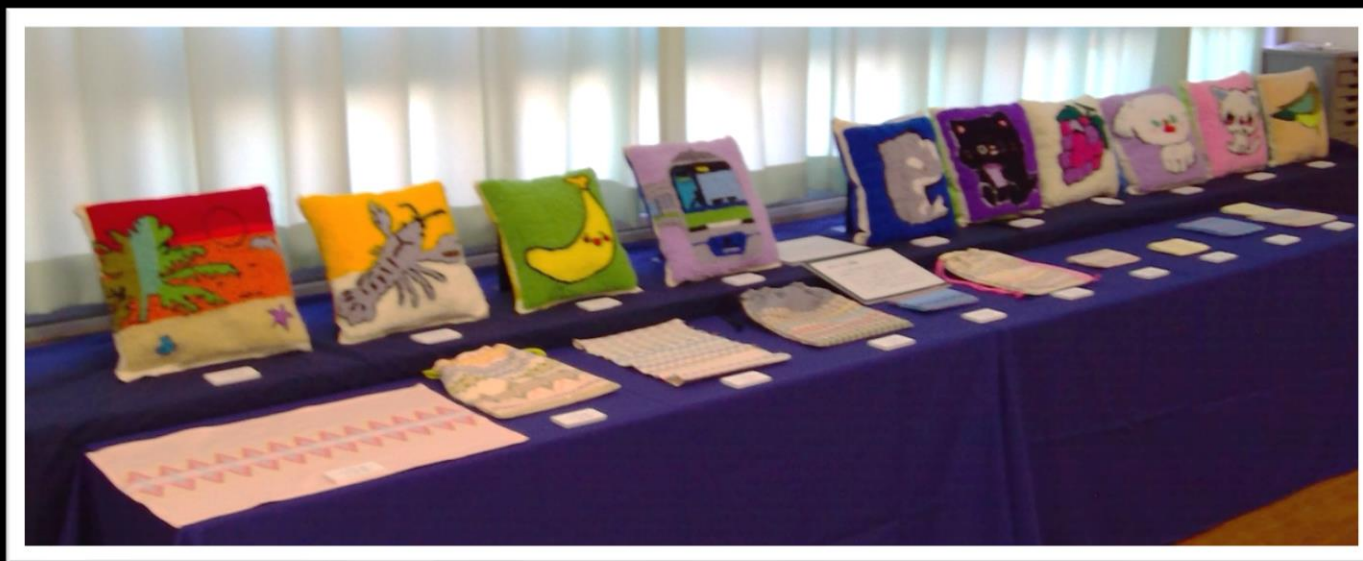
一枚一枚手作業で刷るので二つと同じ作品はありません。インクが濃く出たり、かすれたりするところも手作りならではの魅力になります。カレンダーをめくるのが楽しみな、個性溢れる作品となりました。



タピボン刺繍

絵を描く感覚で、布の裏側から毛糸と専用の針でポツポツと刺し、埋めていくのがタピボン刺繍の特徴です。下絵を決めるところから始め、糸の配色や背景とのバランスを考えながら丁寧に仕上げました。隙間なく埋めていく作業が難しく高い集中力が必要となります。

そして、ひっくり返した時の仕上がりにはワクワクします。カラフルな配色と絨毯のような仕上がりをご覧ください。



スウェーデン刺繍

スウェーデン刺繍の特徴は、布目を数えながら布をすくって刺す刺繍です。スウェーデン針で、織目の下をトンネルのようにすくっていき、さらに階段のように布目を上がり下がりすることによって模様ができていきます。デザインを選び、糸の配色を考え、布がつかないように気を付け、一針一針慎重に仕上げていきます。小物に加工したことでさらに一人一人の個性が光る作品になりました。



張り子のお面

キツネの顔を型に、ちぎった新聞紙を貼り付けていきます。さらに和紙を何層にも貼りくるみます。和紙が完全に乾いたあとは絵付け、ニス仕上げとたくさんの工程を経て出来上がりました。

それぞれのキツネのイメージで色塗りを工夫し、今にも壁から飛び出しそうな生き生きとしたお面に仕上がりました。

